

2022年11月30日

報道関係各位

一般社団法人 大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会

大手町・丸の内・有楽町地区スマートシティプロジェクト  
**ロボット単独での走行・販売実証実験を実施**  
～丸の内仲通りなどでカプセルトイや飲料などを販売～  
実施期間：2022年12月1日（木）～2月4日（土）  
現地取材会：2022年12月6日（火）13:30～

大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり 3 団体の一般社団法人 大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会（以下「大丸有協議会」）は、大丸有（大手町・丸の内・有楽町）エリアにおけるスマートシティビジョンで掲げる都市の「リ・デザイン像」に基づき、パナソニック ホールディングス株式会社、三菱地所株式会社と連携し、**2022年12月1日（木）～2月4日（土）の約2か月間、丸の内仲通りや行幸通り等の公道を含むエリア（東京都千代田区）にて、ロボット単独での走行・販売実証実験**を実施します。

実証実験期間中は、完全遠隔監視・操作型自動搬送ロボット（パナソニック ホールディングス社製のハコボ<sup>®</sup>）が、丸の内仲通りや行幸通り等の公道を含む指定ルートを巡回しながら、特定の販売地点において停止し、無人で、カプセルトイや飲料などを販売します。

完全遠隔監視・操作型自動搬送ロボットとして、保安要員なしで公道走行することは、大丸有エリア初。また、神奈川県藤沢市での同ロボットの走行実績等により、類似環境での他拠点展開として公道審査を伴わない簡素な手続きで道路使用許可を取得した第1号事例。（詳細はパナソニック ホールディングス社のリリース：[リンク](#)）



本実証実験は、大丸有エリアにおける Smart & Walkable のコンセプト実現に向け、自動走行ロボットがウォークアブルな公的空間で、歩行者やつるぐ人々を支援し共存する「リ・デザイン」の都市像の在り方を検証。12月にはエリアイベント Marunouchi Street Park にあわせたカプセルトイの特別販売、1月以降はロボットの荷台を入れ替え、保温された飲料・軽食を販売。ルートや販売地点も、天気の状態やビルの運営状況、イベント開催状況等にあわせて柔軟に変更する予定。エリアの実態にあわせて、エリアの価値を向上するようなフレキシブルな販売形態を試験的に実施し、将来的な走行実装のための知見を蓄積します。

また、大丸有協議会が提供する都市 OS とロボットの位置情報を連携し、ロボットの走行情報について大手町・丸の内・有楽町地区リアルタイム回遊マップのアプリ「Oh MY Map!」にて情報発信し、利用者の利便性を高めます。

（専用ホームページをご覧ください：<https://robot2022-info.tokyo-omy-w.jp>）

本取組みは、大丸有協議会を構成員とする大丸有スマートシティ推進コンソーシアムが採択を受けた2022年度「国土交通省（都市局）／スマートシティモデルプロジェクト（継続採択/4年目）」の一環として実施。これまでもロボットフレンドリーな環境構築に向けた取り組みとして2022年1月には屋内外を統合した3Dデジタルマップの構築によるロボット走行環境形成実証実験の他、経済産業省革新的ロボット研究開発等基盤構築事業としての実証実験も展開されてまいりました。今回も大丸有エリアで働くワーカーや、来街者を中心にアンケートを実施するなどして、実装段階に向けて、販売効果や社会受容性を検証いたします。

**[今回の実証実験について、報道関係者様向けの現地取材会を12月6日（火）に実施いたします。](#)**  
**[詳細は下記をご参照ください。](#)**

## ロボット単独での走行・販売実証実験概要

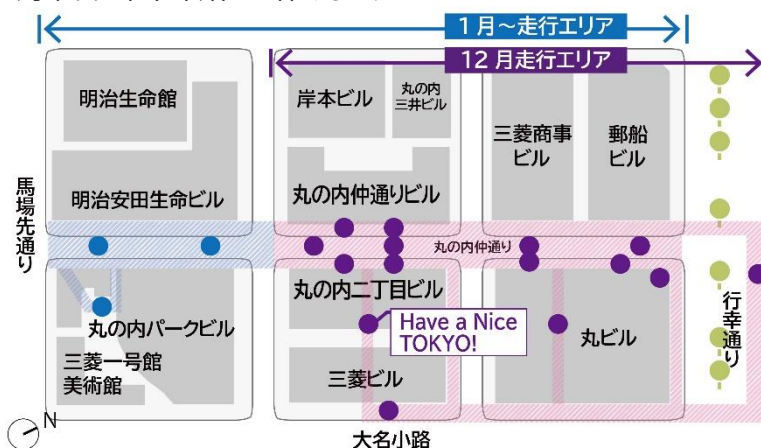
名称：ロボット単独での走行・販売実証

実施主体：一般社団法人大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会（全般）、パナソニック ホールディングス株式会社（ロボット走行他）、三菱地所株式会社（走行エリアのビル所有者、店舗連携等）

協力企業：グッドモーニング株式会社（商品提供、待機場所となる Have a Nice TOKYO! 運営者）  
株式会社エヌ・ティ・ティ・データ（大丸有版都市 OS とロボット位置情報連携の実装、Oh MY Map! アプリの機能追加）

実施期間：①2022年12月1日（木）～24日（土） ②2023年1月6日（金）～2月4日（土）

※日曜日・月曜日・年末年始はお休みします



走行エリア：①丸の内仲通り（丸ビル～丸の内二丁目ビル・三菱ビル）、大名小路、行幸通り

②丸の内仲通り（丸ビル～丸の内パークビル）、大名小路、行幸通り

※●の地点にて20～30分ほど停車し、商品を販売します。販売地点は状況に応じ変更します。

実施時間：午前11時～16時頃 ※日没時間により変動あり

販売商品：①カプセルトイによるエリアイベントと連携した商品を販売 ¥500— ※現金500円硬貨のみ

②飲料・軽食 ※電子決済のみ



～12月特別販売商品～



■ひらがなやアルファベットなどの様々な“丸の内”という文字によるクリスマスオリジナルデザインのスマホリング7種を、カプセルトイの景品として販売します。（12/6～12/24）

■SNSで活躍するデザイナー7人による作字集団、日刊タイポとのコラボ商品。

※日刊タイポとは：[リンク](#)

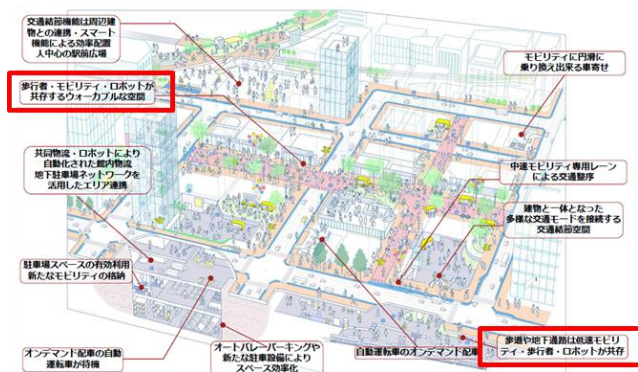
使用車体：パナソニック ホールディングス製 ハコボ® 1台（W9000mm×D550mm×H1150mm）

走行性能：速度最大4km/h、走行可能時間 約3時間

検証項目：エリアや空間のアメニティとしてロボット活用可能性の把握

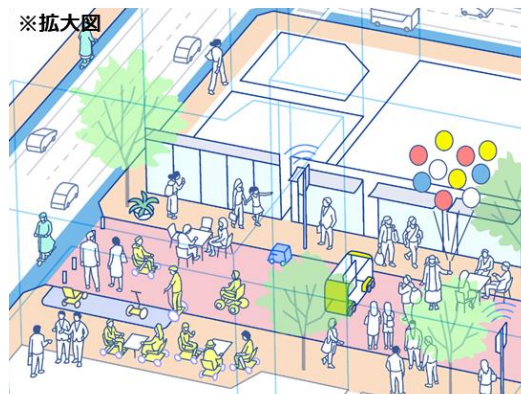
エリアの実態に即したフレキシブルな走行・販売に必要な環境検証

<コンセプトの全体像>



大手町・丸の内・有楽町地区スマートシティ化ビジョン・デザインロードマップ  
（2021年7月大手町・丸の内・有楽町地区スマートシティ推進コンソーシアム）

※拡大図



## 現地取材会について

日時：2022年12月6日（火）13:30～15:00 ※雨天決行。雨天時はコンコースでの走行を予定。  
集合場所：[Have a Nice TOKYO!](#)(住所：東京都千代田区丸の内 2-5-2 三菱ビル 1F)

※当日 Have a Nice TOKYO!内では、まちづくり3団体の大丸有エリアマネジメント協会（リガーレ）の20周年を祝う展示イベントを開催中です。来場される一般のお客様のご迷惑にならないようご理解ご協力をお願いいたします。

### ●ご取材時の申込方法について

ご取材をご希望の際は12月2日（金）17:00までに、下記までメールにて申し込みをお願いします。

ご連絡先：大手町・丸の内・有楽町地区街づくりPR事務局 Mail：tokyo-omy-pr@kyodo-pr.co.jp

### ●ご取材時の注意事項について

・恐れ入りますが、ご来場の際はマスクの着用をお願いします。また、受付で非接触タイプの体温計を用いた体温測定（検温）を実施させていただきます。37.5℃以上の発熱が確認された場合、ご参加をご遠慮いただきます。予めご了承ください。

・14日以内に海外渡航歴がある方、もしくは渡航歴がある方と接触された方、発熱症状などがあり体調がすぐれない方は、誠に恐縮ですが、ご参加をご遠慮ください。

・新型コロナウイルス感染症の状況によっては、オンラインでの開催に変更、または順延させていただく場合がございます。

### 報道関係者からのお問い合わせ先

大手町・丸の内・有楽町地区街づくりPR事務局

共同ピーアール(株) PRアカウント本部 9部 担当：内山・前山・高橋

TEL：070-4303-7327 / 070-4303-7311 FAX：03-6260-6653

E-mail：[tokyo-omy-pr@kyodo-pr.co.jp](mailto:tokyo-omy-pr@kyodo-pr.co.jp)

### 【参考】大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり3団体について

「一般社団法人 大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会（大丸有協議会）、NPO法人 大丸有エリアマネジメント協会（リガーレ）、一般社団法人 大丸有環境共生型まちづくり推進協会（エコツェリア協会）」の3団体は連携して大丸有地区のまちづくりを推進しています。

大手町・丸の内・有楽町地区は、公民協調によるサステイナブル・ディベロップメントを通じて、約120haのまち全域で「新しい価値」「魅力と賑わい」の創造に取り組んでいます。

大丸有協議会を中心に公民でまちの将来像を合意し、リガーレが賑わいや都市観光を促進、エコツェリア協会が社会課題の解決や企業連携によるビジネス創発を具体化しています。

一般社団法人 大手町・丸の内・有楽町地区  
まちづくり協議会（大丸有まちづくり協議会）

再開発・街づくり・地権者合意形成

大丸有地区の地権者を会員とし、エリアの付加価値を高め、  
東京の都心において持続的な発展に向けた取り組みを行っています。



一般社団法人 大丸有環境共生型  
まちづくり推進協会（エコツェリア協会）

サステイナビリティ/Research & Development/環境共生

「経済」「環境」「社会」がバランスよく共存するまちを目指して、  
大丸有地区に集う企業・事業者のコミュニティ形成や、  
次世代への持続可能なビジネス創発に取り組んでいます。

NPO法人 大丸有エリアマネジメント協会  
（リガーレ）

エリアマネジメント運営

道路を始めとした公的空間の活用や、交流・環境などの活動を通じて、  
大丸有地区のブランド向上に取り組んでいます。

## 【参考】大手町・丸の内・有楽町地区とスマートシティについて

大丸有スマートシティ推進コンソーシアム（千代田区・東京都・大丸有協議会）は、2020年3月に策定した「大丸有スマートシティビジョン・実行計画」に続き、「大丸有スマートシティ実行計画 詳細版」を2021年6月に策定しました。

URL：<https://www.tokyo-omy-w.jp/>

「大手町・丸の内・有楽町地区スマートシティビジョン・実行計画」：<https://www.mlit.go.jp/common/001341988.pdf>

「大手町・丸の内・有楽町地区スマートシティ実行計画 詳細版 ver1.0」：<https://www.tokyo-omy-w.jp/data/pdf/plan-details-1.0.pdf>

「大丸有スマートシティビジョン」では、大丸有地区の「まちづくりガイドライン」に示された「まちづくりの目標像」を実現するために、ビジョンオリエンテッドのスマートシティ化を掲げています。スマートシティ化をまちづくりの目標を達成するための手段として捉え、新たな技術や都市のデータを活用して、都市機能のアップデートと都市空間のリ・デザインを実現していきます。

また、デジタルと都市を高度に融合し、都市のリアルタイムデータを収集することで、データに基づいた意思決定を行う「エアーマネジメントのデジタルトランスフォーメーション（DX）モデル」「データ利活用型エアーマネジメントモデル」を確立し、他地区への横展開を目指します。これにより都市の状況をリアルタイムに可視化・分析し、シミュレーションなどをすることが可能になり、まちの「創造性・快適性・効率性」が飛躍的に向上し、価値が増大します。

なお、2019年5月に国土交通省による「スマートシティモデル事業」の先行プロジェクト、2020年7月に東京都の「スマート東京（東京版 Society5.0）の実現に向けた先行実施エリアプロジェクト」に採択されており、2021年度は国土交通省「スマートシティモデルプロジェクト」として、「屋内外を統合した3Dデジタルマップの構築による屋内外のシームレスな移動が可能なロボット配送実証実験」を2022年1月、「丸の内仲通りにおける自動運転バス走行実証実験」を2022年2月に実施しました。

丸の内仲通りにおける歩車共存空間での自動運転バス走行実証



走行シーンイメージ（2020年度実証の様子）

◀実証概要▶

・低速モビリティの運行による隣接エリアへのハーフマイル回遊性の向上を目的に、2020年度実証より延伸したルートで自動運転バス走行を実証